

微粒化 第15巻50号

2006年6月

目 次

解 説

高速度現象における画像計測法 その1

—計測用画像システムについて 安藤幸司 26

解 説

噴霧燃焼の数値計算

. 赤松史光 39

会 告

ICLASS-2006 開催案内 告 2	入会案内 告 12
第15回微粒化シンポジウム開催と講演募集 のお知らせ 告 4	維持会員入会案内 告 13
第6回写真コンテストのお知らせ 告 6	入会申込書 告 16
第2回微粒化セミナー開催と参加者募集のお 知らせ 告 7	維持会員入会申込書 告 17
第19回内燃機関シンポジウム開催と講演募 集のお知らせ 告 9	会員名簿の訂正と変更届 告 18
会則・細則 告 10	投稿規定 告 19
	執筆要綱 告 21
	原稿割付見本 告 24
	原稿表紙 告 27

表紙写真の説明

題目：ディーゼル噴霧の噴射終了後の渦構造

同志社大学 中川仁希氏, 根来 司氏, 堀 司氏, 奥村宜宗氏, 千田二郎先生, 藤本元先生ご提供

噴射終了後における非定常噴霧断面を撮影した。燃料に軽油を用い80 MPaまで加圧し、大気圧場に噴射した。光源にNd:YAGレーザ、撮影系には拡大投影機と大判フィルムにより構成される自作カメラを用いている。大判フィルムを用いることで、液滴レベルの分解能を保ちながら広視野(ノズルから60mm)を確保することが可能である。本写真では、周囲気体に誘引される渦構造により、燃料液滴が分級される状態が捉えられている。